



朝一小だより

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



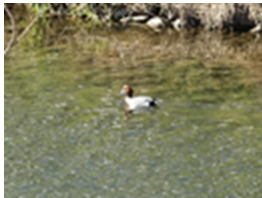
活気があふれ、心が潤い、一人一人がより良く生きる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

朝霞市立朝霞第一小学校

令和7年2月3日

児童数 593名



成長している証として

校長 金子 二郎

大寒も過ぎ間もなく立春となります。わずかずつですが、朝方に東の空が黄色に染まり始めるのも早くなったとは言えるものの、まだまだ寒さが厳しい日が続きます。県内ではインフルエンザ感染者が例年より多く、また新型コロナウイルスの感染状況も一進一退で気が抜けません。保護者や地域の皆様におかれましてはお変わりございませんでしょうか。くれぐれもお体にはお気を付けいただければ幸いです。



さて、2月を迎え今年度も如月、弥生のふた月を残すばかりです。一小の子供たちはこれまでの間、様々なことに挑戦し、心も体も大きく成長してきました。「たくましくなったな」「素敵になったな」と感じるところは数えきれませんが、実はそればかりではないようです。朝、毎日のように屈託ない笑顔で爽やかなあいさつを交わしていた子が、ある日急に目をそらしてつぶやくようなあいさつになっていたり、休み時間に跳び回って友達と仲良く遊んでいた子が、気が付くと曇った表情で校庭の片隅にたたずんでいたり。

何かあったのかなと気になる時もあります。昨年度、Nコン（NHK全国合唱コンクール）中学校の部の課題曲にもなった緑黄色社会の「僕らはいきものだから」には、次のような詞がつづられています。「僕らはいきものだから 変わってゆこう 心も身体（からだ）も さよならだって繰り返す 変わりゆく僕らが美しいのです 息をする僕らが愛（いと）おいしいのです」（長屋晴子作詞・作曲）日々の暮らしの中では楽しいことや嬉しいことばかりでなく、恥ずかしいことや辛いことも数えきれません。大人にとって些細な出来事が子供にとってはことさら深刻な場合もあります。十代前後の柔らかい心の中で

は嵐が吹き荒れているのかも知れませんが、思っている以上のスピードで変わっていく自分の心に戸惑っている子供も少なくないかと思えます。率直に気持ちを表すのが難しいばかりか、時には相手を傷つけてしまいます。当然、時には成長する過程で周囲と摩擦が生じることもあるかも知れませんが、様々な経験が子供の心を磨いてくれているに違いないと思えます。子供の心に寄り添いながらも、変わりゆく

子供に大人が一喜一憂することなく、人生の先輩として温かく見守ってあげることが大切なのかもしいと思えます。冷たい北風が吹き抜ける校庭でも、ふと見上げた桜の枝にはもちろん一枚の葉も残っていませんが、よく見るとたくさんのつぼみが膨らみ始め、間もなく春が訪れることを教えてくれます。僕らはいきものだからには「僕らに待ち受けている 出来事のすべて宝だ さよならだって繰り返す 変わりゆく僕らが美しいのです」ともつづられています。子どもの変化は生きている証なのだと思います。



成長しようとしてうすく筋肉、単なる必要を乗り越えて何かを作り出そうとうすく精神——これが人間なのだ（ジョン・スタインバック）